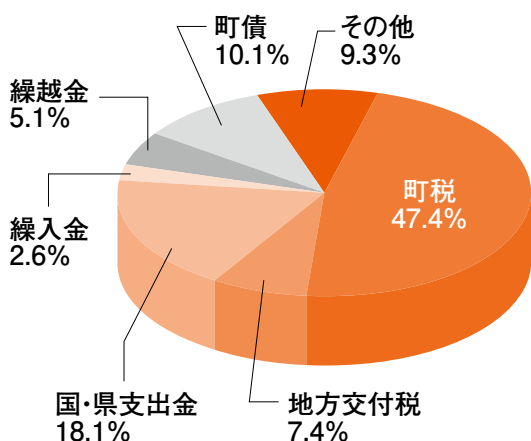


# 平成26年度 決算を審査!!

閉会中の継続審査となっていた平成26年度決算は、議長、監査委員を除く議員で構成された決算特別委員会（審査日10月29日・30日）で審査し、12月定例議会初日の本会議において、委員会の審査報告、質疑、討論を経てすべて認定しました。

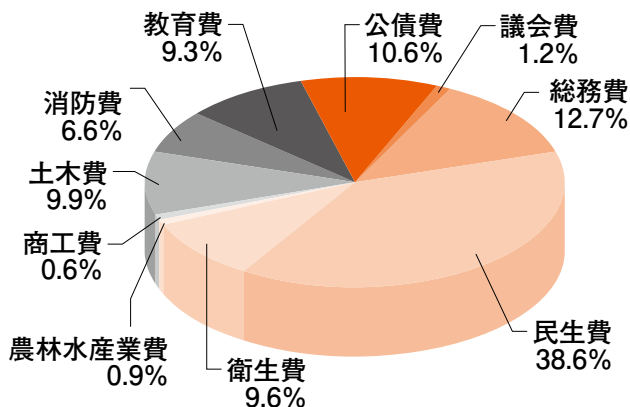
## 平成26年度決算のあらまし

■歳入構成比

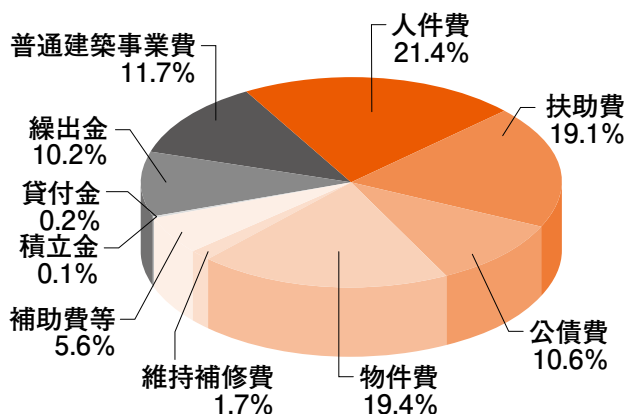


## 一般会計 の状況

■目的別歳出構成比



■性質別歳出構成比



## 会計別の決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	117億3830万円	112億2800万円
国民健康保険特別会計	45億9313万円	42億8182万円
公共下水道事業特別会計	8億6157万円	8億3299万円
中部特定土地区画整理事業特別会計	1億8020万円	1億6155万円
介護保険特別会計	19億8232万円	19億5628万円
後期高齢者医療特別会計	2億7514万円	2億7447万円
水道事業会計	収益的収支	10億9571万円
	資本的収支	5050万円
		9億8094万円
		6億9801万円

(注) 収支に対して不足する額は減債積立金等で補てん

平成26年度決算認定 議員ごとの賛否結果

○…賛成 ●…反対

議案名	議員名	栗原	戸張	藤原	五味	上野	中原	齋藤	奥田	上野	加藤	水上	大沢	佐藤	青木	村山	山本	結果	
		恵子	光枝	義春	雅美	尚徳	敦子	照夫	とみ子	克也	利明	邦雄	淳	弘一	久男	正弘	重幸		
認定第1号	平成26年度伊奈町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	認定
認定第2号	平成26年度伊奈町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	認定
認定第3号	平成26年度伊奈町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第4号	平成26年度伊奈町中部特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第5号	平成26年度伊奈町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第6号	平成26年度伊奈町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第7号	平成26年度伊奈町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

※議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。

目的別歳出決算額の状況

(単位:千円、%)

区分	平成26年度(A)		平成25年度(B)		増 減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
議会費	128,882	1.2	125,803	1.3	3,079	2.4
総務費	1,429,278	12.7	1,409,905	14.2	19,373	1.4
民生費	4,333,942	38.6	3,511,544	35.3	822,388	23.4
衛生費	1,077,708	9.6	1,040,705	10.4	37,003	3.6
農林水産業費	101,113	0.9	68,388	0.7	32,725	47.9
商工費	72,613	0.6	58,686	0.6	13,927	23.7
土木費	1,111,968	9.9	1,061,747	10.7	50,221	4.7
消防費	738,348	6.6	537,780	5.4	200,568	37.3
教育費	1,044,148	9.3	988,367	9.9	55,781	5.6
公債費	1,190,004	10.6	1,144,678	11.5	45,326	4.0
合計	11,228,004	100.0	9,947,613	100.0	1,280,391	12.9

討 論

一 般 会 計

反対討論

水上邦雄

消費税増額の影響は住民全体、とりわけ低所得者層にとって耐えがたいものになっている。給食費の値上げにもつながった。住民の暮らし、福祉を守る施策の充実が必要だ。

賛成討論

青木久男

総合センターの耐震化、羽貫駅エレベーター完成、いな穂街道の着実な拡幅延長があり、新規では住民課の旅券発給、町税のコンビニ収納開始等々、町民の安心安全や利便性に大きく寄与している。

国民健康保険 特別会計

反対討論

五味雅美

所得200万円以下の世帯が、加入者の72・5%、所得不明者を除く滞納者の65%、滞納額の49・8%を占めるのに、一般会計からの繰入れは県の平均よりも少ない。国庫負担引き上げを求めるべき。

賛成討論

奥田とみ子

平成26年度の保険給付費は、歳出の65%を占め国民健康保険を取り巻く

介 護 保 険 特 別 会 計

反対討論

五味雅美

要支援者を介護保険から排除するなど、「介護難民」を増大させる制度改定に対して、公費投入の拡大で低所得者への負担軽減や保険料に依存しない仕組みを国に求めるべき。

賛成討論

栗原恵子

歳入では、安定した財源を確保し65歳以上の被保険者負担を最小限に抑えた。歳出では、88%以上の保険給付費で健全な財政運営となっている。引き続き安定した介護保険事業の運営を期待する。